

## 令和 7 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	大学公開実習 D (行動生態学・生物多様性学)		
<p>実習内容</p> <p>(状況により予定が変更される場合がある。下記 Web Site などを確認する事)</p> <p>※生態学の分野横断的な動物行動学, 生物多様性学, 沿岸景観生態学を総合的に学ぶ</p> <p>(1) 巻貝の空き殻を競って奪うヤドカリ類の種間競争関係(テナガツノヤドカリ vs ユビナガホンヤドカリ)を理解するとともに, 干潟生態系に散在する空き殻という希少な資源を巡りヤドカリの種間が奪い合う様相を実験的に体感する(行動生態学)。</p> <p>(2) ドローンを使って, 干潟生態系と海草藻場生態系の生物の分布を推定する(1班(3名程度)に1台のドローンを使用する)。海草藻場生態系において海草の生育範囲をトレースするとともに, 干潟生態系において有明海特産種(ムツゴロウなど)・準特産種(シオマネキなど)を対象に, 軟泥で立ち入ることが難しい干潟生物の分布を, ドローンを使って探索する(沿岸景観生態学)。</p> <p>(3) 八代海(有明海)の干潟や, 海草藻場(アマモ場)に蟄集する魚類や小型無脊椎動物を採集し群集構造の空間変異を解明する(生物多様性学)。</p> <p>※野外実験・室内実験の合間には, ウミホタルやミナミハンドウイルカ(ドローンによる撮影)などの生態観察も行う予定である。詳しい実習内容や持ち物等については実施要項や, 下記のホームページを確認すること。なお, これらの実習内容は天候などによって, 臨機応変に変更する場合がある。</p>			
実習内容キーワード	ヤドカリ, 資源競争, 海草藻場, 有明海特産種, ドローン, ミナミハンドウイルカ, ハクセンシオマネキ		
担当教員氏名・所属・役職名	山田勝雅・水循環センター・准教授, 吉川晟弘・水循環センター・准教授, 嶋永元裕・水循環センター・教授, 田中源吾・水循環センター・准教授, 逸見泰久・水循環センター・特任教授		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部 1～3 年生	開講期間	令和 8 年 3 月 19 日～3 月 25 日
開講大学・施設名	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 合津マリンステーション		
施設の住所	〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061		
電話	0969-56-0277		Fax 0969-56-3740
E-mail	publect-ams@kmm.kumamoto-u.ac.jp		Web Site <a href="https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/">https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/</a>
交通案内	熊本市内の熊本桜町バスターミナル, またはJR熊本駅前から, 天草(本渡)行きのバス(あまくさ号)に乗り「前島」下車。徒歩 5 分。あまくさ号は 1 時間または 30 分間隔で運行。熊本駅前から約 1 時間半。空港からは, 桜町バスターミナルで乗り換える。		
費用	12,000 円程度(食費・宿泊費など。残金は返却する)		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2 単位	定員数	12 名
授業料の徴収について	公立・私立大学の学生で, 単位取得を希望する学生については, 授業料を徴収する。		